

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

Hiroyuki YAMAMOTO

Application No.: New U.S. Patent Application

Filed: February 15, 2000

Docket No.: 105311

For: COMMUNICATION APPARATUS



CLAIM FOR PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 11-36242 filed February 15, 1999

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application:

 X is filed herewith.

 was filed on in Parent Application No. filed .

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read "James A. Oliff".

James A. Oliff

Registration No. 27,075

Ronald E. Prass, Jr.

Registration No. 42,089

JAO:REP/kmc

OLIFF & BERRIDGE, PLC
P.O. Box 19928
Alexandria, Virginia 22320
Telephone: (703) 836-6400

<p>DEPOSIT ACCOUNT USE AUTHORIZATION Please grant any extension necessary for entry; Charge any fee due to our Deposit Account No. 15-0461</p>

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

1999 3 15 36 01
Jc688 U.S. PTD
09/504117
02/15/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
this Office.

願年月日
Date of Application: 1999年 2月15日

願番号
Application Number: 平成11年特許願第036242号

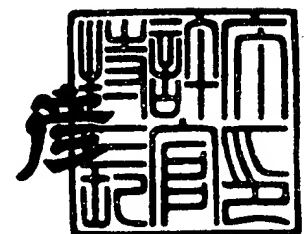
願人
Applicant(s): ブラザー工業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

1999年11月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤隆彦



【書類名】 特許願

【整理番号】 98095100

【提出日】 平成11年 2月15日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 名古屋市瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号 ブラザー工業株式会
社内

【氏名】 山元 敬之

【特許出願人】

【識別番号】 000005267

【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100098431

【弁理士】

【氏名又は名称】 山中 郁生

【連絡先】 0 5 2 - 2 6 3 - 3 1 3 1

【選任した代理人】

【識別番号】 100097009

【弁理士】

【氏名又は名称】 富澤 孝

【選任した代理人】

【識別番号】 100105751

【弁理士】

【氏名又は名称】 岡戸 昭佳

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 041999

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9506366

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被読取媒体上に形成された画像情報を、ネットワークを介して送信相手先へ送信可能なインターネットファクシミリ装置であって、

前記被読取媒体上に形成された画像情報を読取可能な画像読取部と、

前記送信相手先の宛先情報を入力可能な宛先入力部と、

前記画像情報の一部に各種送信情報を添付可能な送信情報添付部とを備え、

前記送信情報添付部は、前記宛先情報に応じて、前記各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 2】 前記宛先情報は、送信先アカウント及び送信先ドメイン名からなる送信先メール・アドレスから構成されるとともに、前記インターネットファクシミリ装置は、前記送信先ドメイン名を指定可能な送信先ドメイン名指定部を更に備え、

前記送信情報添付部は、前記宛先入力部を介して入力された宛先情報が有する送信先ドメイン名と、前記ドメイン名指定部を介して指定された送信先ドメイン名との一致／不一致に応じて、前記各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 3】 前記宛先情報は、送信先アカウント及び送信先ドメイン名からなる送信先メール・アドレスから構成されるとともに、前記インターネットファクシミリ装置は、送信元を特定する送信元アカウント及び送信元ドメイン名からなる送信元メール・アドレスを備え、

前記送信情報添付部は、前記送信元ドメイン名と送信先ドメイン名との一致／不一致に応じて、前記各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、被読取媒体上に形成された画像情報を、ネットワーク（通信回線網）を介して送信相手先へ送信可能なインターネットファクシミリ装置に係り、特に、送信相手先に応じて選択的に各種送信情報（ヘッダ情報）を添付することにより、利便性の向上を可能としたインターネットファクシミリ装置に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、被読取媒体上に形成された画像情報を、ネットワーク（通信回線網）を介して、送信相手先へ送信可能なインターネットファクシミリ装置が実用化されている。

【0 0 0 3】

このようなインターネットファクシミリ装置は、被読取媒体上に形成された画像情報を読取可能な画像読取部、送信相手先の宛先情報（送信相手先ファクシミリ番号や送信相手先メール・アドレス）を入力可能な宛先入力部、及び、送信元、送信日、送信時間、送信枚数等からなる各種送信情報（ヘッダ情報）を添付可能な送信情報添付部等から構成されている。このように構成されたインターネットファクシミリ装置は、画像読取部を介して読み取った画像情報の一部（最上端や最下端等の画像情報読取範囲に支障がない部分）に、各種送信情報を添付するとともに、ネットワークを介して接続された送信相手先へ上述した画像情報を送信している。この送信相手先では、被読取媒体上に形成された画像情報の一部に各種送信情報が添付された状態で画像情報を受信するため、受信した画像情報に添付された各種送信情報の内容を参照することにより、その画像情報が何時、誰から、何枚送信されたものであるかを、容易に判断することが可能である。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したインターネットファクシミリ装置では、送信相手先の要望（受信する画像情報を、被読取媒体と同一のものにしたい場合等）や、送信元の都合（送信する画像情報を、匿名のものにしたい場合等）によって、各種送信情報を非添付とすることが望ましい場合があった。このような場合が生じる度

に、使用者は送信元であるインターネットファクシミリ装置において、各種送信情報に関する様々な設定を変更する必要がある、非常に不便なものであった。

【0005】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、各種送信情報（ヘッダ情報）を送信相手先に応じて選択的に添付することにより、利便性の向上を可能としたインターネットファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1に記載のインターネットファクシミリ装置は、被読取媒体上に形成された画像情報を、ネットワークを介して送信相手先へ送信可能なインターネットファクシミリ装置であって、被読取媒体上に形成された画像情報を読取可能な画像読取部と、送信相手先の宛先情報を入力可能な宛先入力部と、画像情報の一部に各種送信情報を添付可能な送信情報添付部とを備え、送信情報添付部は、宛先情報に応じて、各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とするものである。

【0007】

このインターネットファクシミリ装置によれば、送信相手先の宛先情報に応じて、画像情報の一部に各種送信情報の添付／非添付が選択的に決定される。これにより、宛先情報に応じて各種送信情報の添付／非添付が選択的に決定されるので、常に、各種送信情報を添付、あるいは、非添付としたい送信相手先であるにも拘わらず、画像情報を送信する度に、各種送信情報に関する様々な設定を変更する必要がなくなり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【0008】

また、請求項2に記載のインターネットファクシミリ装置は、請求項1に記載のインターネットファクシミリ装置において、宛先情報は、送信先アカウント及び送信先ドメイン名からなる送信先メール・アドレスから構成されるとともに、インターネットファクシミリ装置は、送信先ドメイン名を指定可能な送信先ドメイン名指定部を更に備え、送信情報添付部は、宛先入力部を介して入力された宛

先情報が有する送信先ドメイン名と、ドメイン名指定部を介して指定された送信先ドメイン名との一致／不一致に応じて、各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とするものである。

【0009】

このインターネットファクシミリ装置によれば、宛先入力部を介して入力された宛先情報が有するドメイン名と、ドメイン指定部を介して指定されたドメイン名との一致／不一致に応じて、画像情報の一部に各種送信情報の添付／非添付が選択的に決定される。これにより、送信相手先のドメイン名毎に各種送信情報の添付／非添付を選択的に設定可能となるので、各種送信情報の添付／非添付の設定が容易となり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【0010】

更に、請求項3に記載のインターネットファクシミリ装置は、請求項1に記載のインターネットファクシミリ装置において、宛先情報は、送信先アカウント及び送信先ドメイン名からなる送信先メール・アドレスから構成されるとともに、インターネットファクシミリ装置は、送信元を特定する送信元アカウント及び送信元ドメイン名からなる送信元メール・アドレスを備え、送信情報添付部は、送信元ドメイン名と送信先ドメイン名との一致／不一致に応じて、各種送信情報の添付／非添付を選択的に決定することを特徴とするものである。

【0011】

このインターネットファクシミリ装置によれば、送信元ドメイン名と送信先ドメイン名との一致／不一致に応じて、画像情報の一部に各種送信情報の添付／非添付が選択的に決定される。これにより、送信元のドメイン名と同一のドメイン名を有する送信相手先と、送信元のドメイン名と異なるドメイン名を有する送信相手先とで、各種送信情報の添付／非添付を切り換えることが可能となり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好ましい実施の形態を、図面を参照しつつ詳細に説明する。

【0013】

図1は、本発明の一実施形態に係るインターネットファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【0014】

図1に示されるように、このインターネットファクシミリ装置10は、記録印字すべき画像情報（文字や数字等を含む意である）を被記録媒体上に形成可能な画像形成部14、光学系読取装置を備えることにより被読取媒体上に形成された画像情報を読取可能な画像読取部16、図示しないパーソナルコンピュータとの情報交換等を可能にするパーソナルコンピュータインターフェース部（PCインターフェース部）18、画像読取部16を介して読み取られた画像情報を圧縮したり、受信した画像情報等を伸張する情報圧縮／伸張部20、インターネットファクシミリ装置10によるデータの送受信処理を直接制御する通信機能部22、音声やエラー音を出力可能なスピーカ34、後述する送信情報添付処理プログラムやフォントデータ等を記憶するROM36、後述するパネル操作部46を介して入力された送信相手先の宛先情報（送信相手先ファクシミリ番号や送信相手先メール・アドレス）等を登録・記憶したり、送信相手先毎に送信元、送信日、送信時間、送信枚数等からなる各種送信情報（ヘッダ情報）の添付／非添付設定を登録・記憶可能なEEPROM38、各種情報を記憶・消去可能なRAM40、使用者からの操作指示を入力可能なキースイッチ類や、各種処理結果を表示可能な図示しない液晶ディスプレイ等を備えるパネル操作部46等がバス54を介して接続されているCPU12によって統制・制御されている。

【0015】

尚、通信機能部22は、画像情報の一部（最上端や最下端等の画像情報読取範囲に支障がない部分）に各種送信情報を添付可能な送信情報添付部24、通信に関する統制・制御を行う通信制御部26、後述する一般公衆回線56（図2参照）との回線制御を行う回線制御部28、後述するLAN（Local Area Network）68（図2参照）との回線制御を行うネットワーク制御部30、及び、信号の変調及び復調を行うモデム32等から構成されている。

【0016】

また、RAM 40は、送信した画像情報に関する各種送信情報を複数件数記憶可能な送信情報メモリ 42、画像情報の送受信等を実行する際に必要となるデータを一時的に記憶することが可能なワークメモリ 44等から構成されている。

【0017】

更に、パネル操作部 46は、送信相手先ファクシミリ番号や各種数値情報等を入力可能なテンキー 48、送信相手先メール・アドレスや送信相手先の名前等を入力可能なキャラクターキー 50、各種送信情報の添付／非添付を選択的に設定可能な添付／非添付設定キー 52等から構成されている。

【0018】

図2は、図1に示したインターネットファクシミリ装置 10と、このインターネットファクシミリ装置 10に接続されている通信回線網との概略構成を示したブロック図である。尚、この図2では、図を簡略化するために、インターネットファクシミリ装置 10によって通信を行う際に重要となる通信機能部 22を主に図示することとし、他のインターネットファクシミリ装置 10を構成する構成要素の図示は省略することとする。

【0019】

図2に示されるように、上述したインターネットファクシミリ装置 10は、一般公衆回線 56及びインターネットプロバイダ 60を介して回線制御部 28とインターネット 62とを接続したり、LAN 68を介してネットワーク制御部 30とインターネット 62とを接続したりすることが可能である。また、送信相手先ファクシミリ装置 A（送信相手先 FAX 装置 A） 58、及び、送信相手先パーソナルコンピュータ（送信相手先 PC） 66は、送信相手先プロバイダ A 64を介してインターネット 62と接続されており、更に、送信相手先ファクシミリ装置 A 58は一般公衆回線 56とも接続されている。同様に、送信相手先ファクシミリ装置 B（送信相手先 FAX 装置 B） 59は、送信相手先プロバイダ B 61を介してインターネット 62と接続されている。更に、送信相手先ファクシミリ装置 C（送信相手先 FAX 装置 C） 63は、インターネットファクシミリ装置 10と同一の LAN 68を介してインターネット 62と接続されている。尚、インターネットファクシミリ装置 10、送信相手先ファクシミリ装置 A 58、送信相手先

ファクシミリ装置 B 5 9、及び、送信相手先ファクシミリ装置 C 6 3 は、それぞれ abc@de.fgh.co.jp、lmn@op.qrs.co.jp、tuv@wx.yza.co.jp、ijk@de.fgh.co.jp と示される固有のメール・アドレスを所有している。このメール・アドレスは、@（アットマーク）の前方（左側）に示されるアカウントと、@（アットマーク）の後方（右側）に示されるドメイン名とから構成されており、ドメイン名は、日本（jp）やフランス（fr）等を示す国名、及び、政府（go、gov）や企業（co、com）等を示す機関等から構成される組織名を示す一方、アカウントは、その組織内に属するユーザを識別するためのユーザ名を示している。また、送信相手先ファクシミリ装置 A 5 8 は、一般公衆回線 5 6 を介して接続可能な所定の送信相手先ファクシミリ番号を有している。

【 0 0 2 0 】

次に、上述した送信相手先に画像情報を送信する際に、その送信相手先のメール・アドレスに応じて、画像情報の一部に各種送信情報を選択的に添付する送信情報添付処理について、図 3 に示す送信情報添付処理フローチャートを参照しながら詳細に説明する。

【 0 0 2 1 】

まず、使用者によって画像読取部 1 6 に被読取媒体がセットされたかを判断する（S 1）。ここで、画像読取部 1 6 に被読取媒体がセットされていない場合（S 1：NO）は、使用者によって画像読取部 1 6 に被読取媒体がセットされるまで待機状態となる。使用者は、この待機状態（S 1：NO）において、パネル操作部 4 6 に設けられた添付／非添付設定キー 5 2 を操作することにより、送信相手先を特定する送信相手先メール・アドレス毎や、送信相手先メール・アドレスを構成するドメイン名毎に、各種送信情報の添付／非添付を設定することが可能である。尚、以下に示す送信情報添付処理では、送信元であるインターネットファクシミリ装置 1 0 と同一のドメイン名（de.fgh.co.jp）を有するメール・アドレス、及び、使用者によって選択された特定のメール・アドレス（lmn@op.qrs.co.jp）に送信される画像情報には、各種送信情報を非添付にする設定を行ったものとする。

【 0 0 2 2 】

一方、使用者によって画像読取部 16 に被読取媒体がセットされた場合（S1：YES）は、パネル操作部 46 を介して入力された送信相手先のメール・アドレスを確認する（S3）。そして、次にこの入力された送信相手先メール・アドレスが、インターネットファクシミリ装置 10（abc@de.fgh.co.jp）と同一ドメイン名（de.fgh.co.jp）を有するか判断する（S5）。ここで、送信相手先メール・アドレスが、インターネットファクシミリ装置 10 と同一ドメイン名を有する場合（S5：YES）は、画像読取部 16 にセットされた被読取媒体上の画像情報を読み取るとともに（S11）、その画像情報を送信相手先に送信して（S13）、この送信情報添付処理を終了する。

【0023】

また、S5 の判断において、送信相手先メール・アドレスが有するドメイン名がインターネットファクシミリ装置 10 が有するドメイン名と同一でない場合（S5：NO）は、次に、パネル操作部 46 に設けられた添付／非添付設定キー 52 を介して、予め各種送信情報を非添付とする設定がされたメール・アドレス（lmn@op.qrs.co.jp）であるかを判断する（S7）。ここで、予め各種送信情報を非添付とする設定がされたメール・アドレス（lmn@op.qrs.co.jp）であった場合（S7：YES）は、画像読取部 16 にセットされた被読取媒体上の画像情報を読み取るとともに（S11）、その画像情報を送信相手先に送信して（S13）、この送信情報添付処理を終了する。

【0024】

更に、S7 の判断において、送信相手先メール・アドレスが、予め各種送信情報を非添付とする設定がされたメール・アドレス（lmn@op.qrs.co.jp）と一致しない場合（S7：NO）は、送信情報添付部 24 を介して被読取媒体上に形成された画像情報の一部に、各種送信情報を添付しながら（S9）、画像読取部 16 にセットされた被読取媒体上の画像情報を読み取るとともに（S11）、その画像情報を送信相手先に送信して（S13）、この送信情報添付処理を終了する。

【0025】

次に、図 3 に示す送信情報添付処理フローチャートに従って、送信情報添付処理を実行した際に得られる送信情報添付処理結果を、図 4 乃至図 6 を参照しながら

ら詳細に説明する。尚、図4（A）、図5（A）、及び、図6（A）は、インターネットファクシミリ装置10を介して送信相手先へ画像情報を送信する際のデータ内容、図4（B）、図5（B）、及び、図6（B）は、被読取媒体上に形成された画像情報、図4（C）、図5（C）、及び、図6（C）は、送信相手先において受信された画像情報である。また、図4（A）、図5（A）、及び、図6（A）に示されるデータ内容は、インターネット電子メール標準であるMIME（Multipurpose Internet Mail Extensions）の規格に準じた形式で形成されており、被読取媒体上に形成された画像情報をTIFF形式の画像データに変換したものの他に、画像情報の送受信に必要となる様々な情報が含有されている。

【0026】

図4は、インターネットファクシミリ装置10（abc@de.fgh.co.jp）（図4（A）、From参照）から送信相手先ファクシミリ装置C63（ijk@de.fgh.co.jp）（図4（A）、To参照）へ、1999年1月14日木曜日の14時21分（図4（A）、Date参照）に日本地図に関する画像情報（図4（A）、Subject参照）を送信した場合の送信情報添付処理結果を示している。この送信相手先ファクシミリ装置C63（ijk@de.fgh.co.jp）は、インターネットファクシミリ装置10（abc@de.fgh.co.jp）と同一のドメイン名（de.fgh.co.jp）を有することから、図3に示す送信情報添付処理フローチャートのS5の判断において、インターネットファクシミリ装置10と同一ドメイン名を有すると判断される（S5：YES）。このため、送信相手先ファクシミリ装置C63において受信される画像情報は、各種送信情報が添付されずに、被読取媒体の画像情報（図4（B）参照）と同一の画像情報（図4（C）参照）となる。

【0027】

また、図5は、インターネットファクシミリ装置10（abc@de.fgh.co.jp）（図5（A）、From参照）から送信相手先ファクシミリ装置A58（lmn@op.qrs.co.jp）（図5（A）、To参照）へ、1999年1月14日木曜日の14時21分（図5（A）、Date参照）に日本地図に関する画像情報（図5（A）、Subject参照）を送信した場合の送信情報添付処理結果を示している。この送信相手先フ

ファクシミリ装置 A 5 8 (imn@op.qrs.co.jp) は、インターネットファクシミリ装置 1 0 (abc@de.fgh.co.jp) と同一のドメイン名 (de.fgh.co.jp) を有していないが (S 5 : N O)、予め添付／非添付設定キー 5 2 を介して各種送信情報を非添付とする設定が行われたメール・アドレス (imn@op.qrs.co.jp) であることから、図 3 に示す送信情報添付処理フローチャートの S 7 の判断において、指定メール・アドレスであると判断される (S 7 : Y E S)。このため、送信相手先ファクシミリ装置 A 5 8 において受信される画像情報は、各種送信情報が添付されずに、被読取媒体の画像情報 (図 5 (B) 参照) と同一の画像情報 (図 5 (C) 参照) となる。

【 0 0 2 8 】

更に、図 6 は、インターネットファクシミリ装置 1 0 (abc@de.fgh.co.jp) (図 6 (A)、From 参照) から送信相手先ファクシミリ装置 B 5 9 (tuv@wx.yza.co.jp) (図 6 (A)、To 参照) へ、1999 年 1 月 14 日木曜日の 14 時 21 分 (図 6 (A)、Date 参照) に日本地図に関する画像情報 (図 6 (A)、Subject 参照) を送信した場合の送信情報添付処理結果を示している。この送信相手先ファクシミリ装置 B 5 9 (tuv@wx.yza.co.jp) は、インターネットファクシミリ装置 1 0 (abc@de.fgh.co.jp) と同一のドメイン名 (de.fgh.co.jp) を有しておらず (S 5 : N O)、かつ、予め添付／非添付設定キー 5 2 を介して各種送信情報を非添付とする設定が行われたメール・アドレス (imn@op.qrs.co.jp) と一致しない (S 7 : N O) ことから、画像情報の一部に各種送信情報が添付される (S 9)。このため、送信相手先ファクシミリ装置 B 5 9 において受信される画像情報は、被読取媒体の画像情報 (図 6 (B) 参照) の最上端に、各種送信情報が添付された状態の画像情報 (図 6 (C) 参照) となる。

【 0 0 2 9 】

以上説明したように、このインターネットファクシミリ装置 1 0 によれば、各種送信情報を送信相手先の宛先情報に応じて、選択的に添付することが可能であるので、各種送信情報を添付しないことを望む送信相手先を、添付／非添付設定キー 5 2 を介して E E P R O M 3 8 に記憶することにより、送信相手先に画像情報を送信する度に、各種送信情報に関する様々な設定を切り換える必要がないの

で、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【 0 0 3 0 】

また、送信相手先の宛先情報が有するドメイン名と、送信元であるインターネットファクシミリ装置 1 0 が有するドメイン名とが一致する場合（S 5 : Y E S）は、各種送信情報を非添付にするといったように、送信相手先のドメイン名によって、各種送信情報の添付／非添付を選択的に切り換えることが可能であるので、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【 0 0 3 1 】

尚、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々の改良、変形が可能であることは勿論である。例えば、本実施形態に係るインターネットファクシミリ装置 1 0 では、インターネットファクシミリ装置 1 0 が有するドメイン名と、送信相手先の宛先情報が有するドメイン名とが一致した場合に、各種送信情報を非添付とする例を挙げて説明したが、勿論これに限られるものではなく、インターネットファクシミリ装置 1 0 が有するドメイン名と、送信相手先の宛先情報が有するドメイン名とが一致した場合に、各種送信情報を添付する構成としても同様な効果が得られることは言うまでもない。

【 0 0 3 2 】

また、本実施形態に係るインターネットファクシミリ装置 1 0 では、送信相手先の宛先情報が送信相手先メール・アドレスである場合を例に挙げて記載したが、勿論これに限られることなく、送信相手先の宛先情報が送信相手先ファクシミリ電話番号であっても同様な効果が得られることは言うまでもない。

【 0 0 3 3 】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置によれば、宛先情報に応じて各種送信情報の添付／非添付が選択的に決定されるので、常に、各種送信情報を添付、あるいは、非添付としたい送信相手先であるにも拘わらず、画像情報を送信する度に、各種送信情報に関する様々な設定を変更する必要がなくなり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【0 0 3 4】

また、請求項 2 に記載のインターネットファクシミリ装置によれば、請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置の効果に加え更に、送信相手先のドメイン名毎に各種送信情報の添付／非添付を選択的に設定可能となるので、各種送信情報の添付／非添付の設定が容易となり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

【0 0 3 5】

更に、請求項 3 に記載のインターネットファクシミリ装置によれば、請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置の効果に加え更に、送信元のドメイン名と同一のドメイン名を有する送信相手先と、送信元のドメイン名と異なるドメイン名を有する送信相手先とで、各種送信情報の添付／非添付を切り換えることが可能となり、使用者にかかる手間や負担を良好に低減させることが可能となる。

。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態に係るインターネットファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【図 2】

インターネットファクシミリ装置と、インターネットファクシミリ装置と接続されている通信回線網との概略構成を示したブロック図である。

【図 3】

送信情報添付処理を示す送信情報添付処理フローチャート図である。

【図 4】

送信情報添付処理結果を示す図である。

【図 5】

送信情報添付処理結果を示す図である。

【図 6】

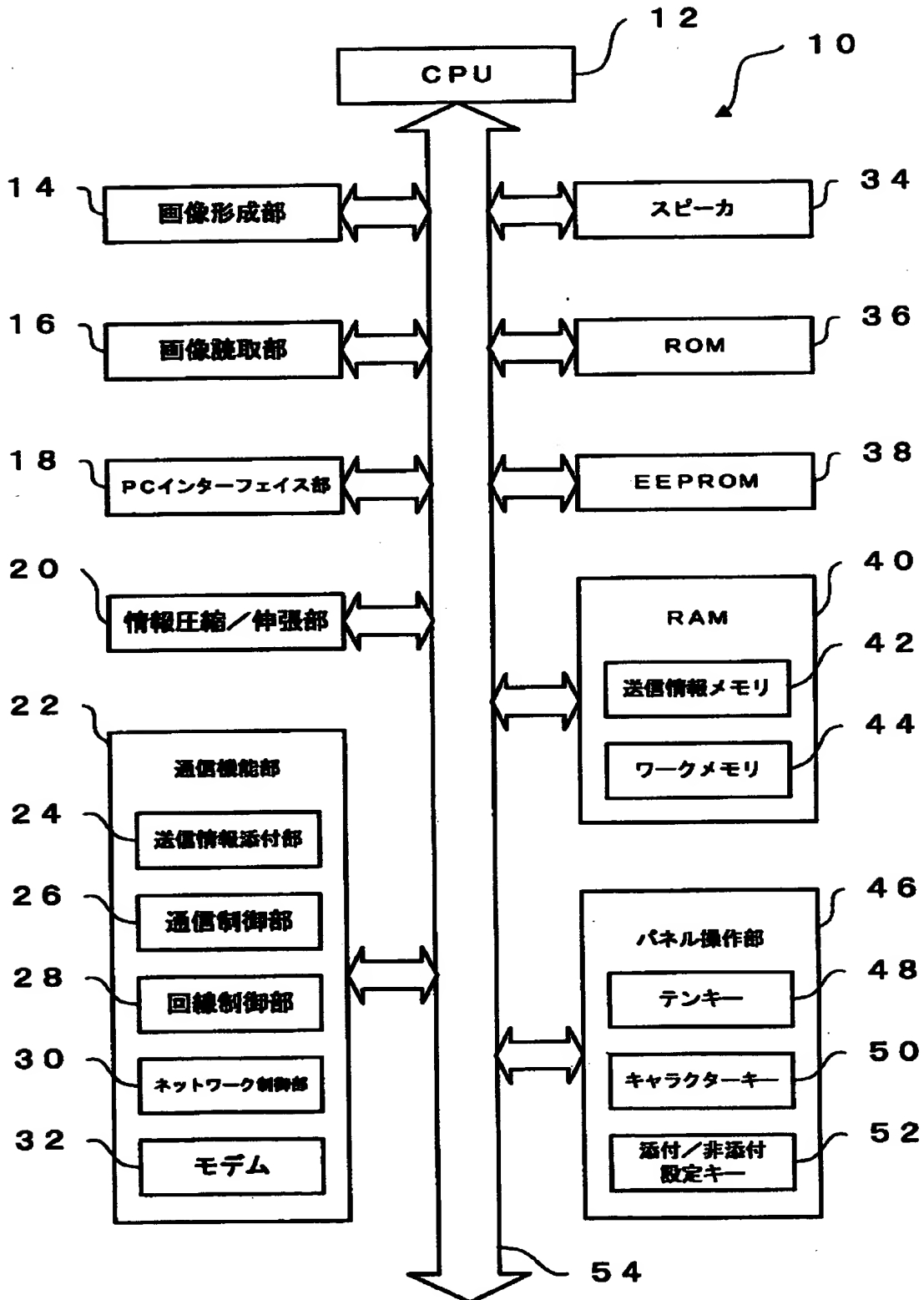
送信情報添付処理結果を示す図である。

【符号の説明】

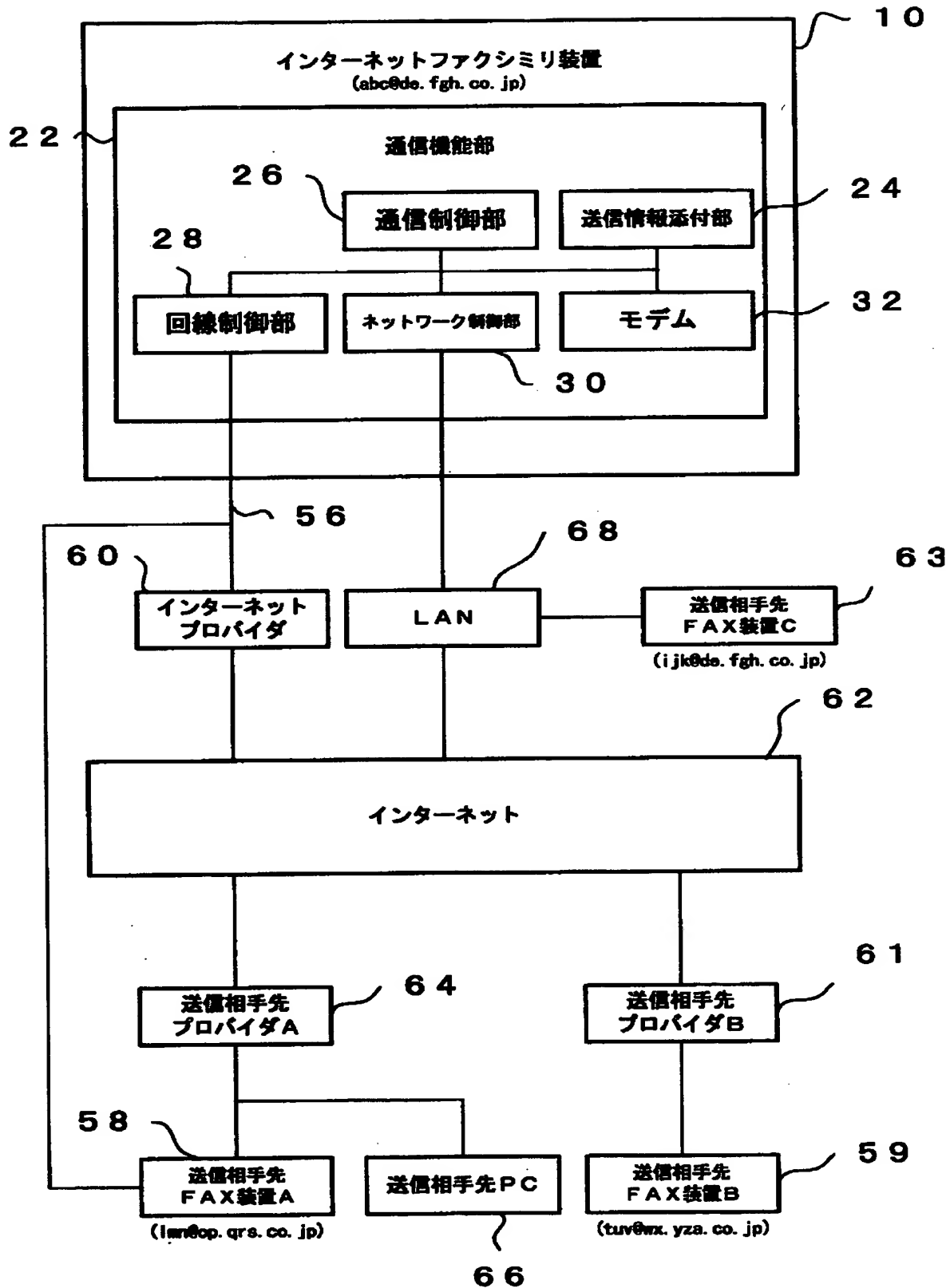
- 1 0 インターネットファクシミリ装置
- 1 6 画像読取部
- 2 2 通信機能部
- 2 4 送信情報添付部
- 2 6 通信制御部
- 2 8 回線制御部
- 3 0 ネットワーク制御部
- 3 6 ROM
- 3 8 EEPROM
- 4 0 RAM
- 4 4 ワークメモリ
- 4 6 パネル操作部
- 4 8 テンキー
- 5 0 キャラクターキー
- 5 2 添付／非添付設定キー
- 5 8 送信相手先ファクシミリ装置 A
- 5 9 送信相手先ファクシミリ装置 B
- 6 0 インターネットプロバイダ
- 6 1 送信相手先プロバイダ B
- 6 2 インターネット
- 6 3 送信相手先ファクシミリ装置 C
- 6 4 送信相手先プロバイダ A
- 6 8 LAN

【書類名】 図面

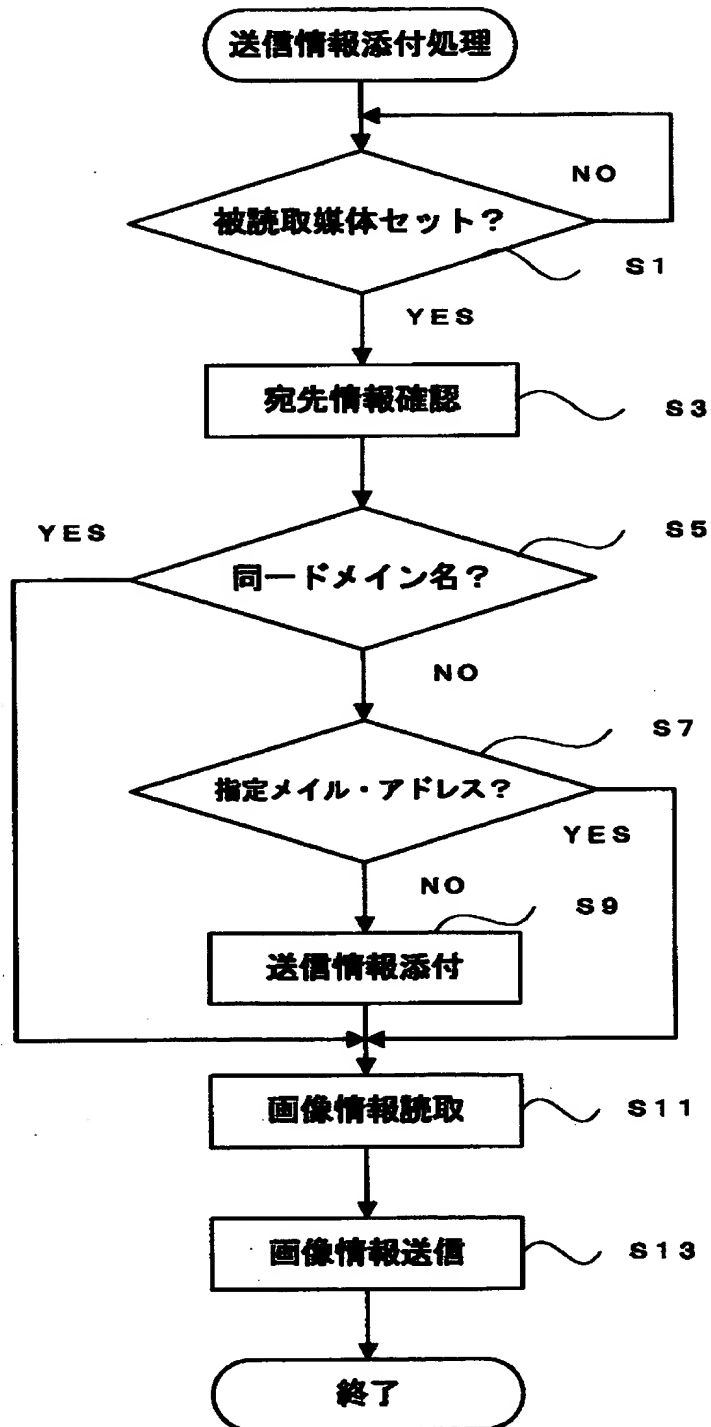
【図 1】



【図2】



【図 3】



【図 4】

(A)

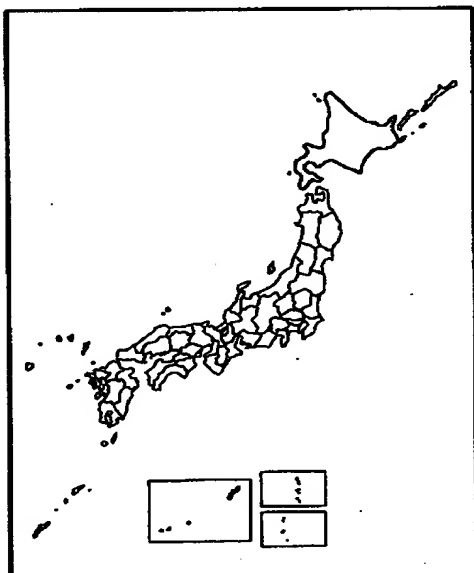
From : abc@de.fgh.co.jp
To : ijk@de.fgh.co.jp
Date : Thu, 14 Jan 1999 00:14:21
Subject : 日本地図
Content-Type : text/plain; charset="ISO-2022JP"

T I F F - F 形式の画像データが添付されています。

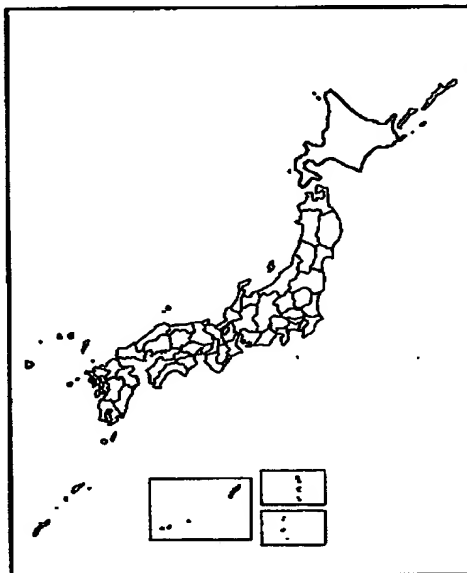
Content-Type : Image/tiff; name="image.tif"

画像データ (T I F F - F 形式)

(B)



(C)



【図 5】

(A)

From

:abc@de.fgh.co.jp

To

:lmn@op.qrs.co.jp

Date

:Thu, 14 Jan 1999 00:14:21

Subject

:日本地図

Content-Type

:text/plain; charset="ISO-2022JP"

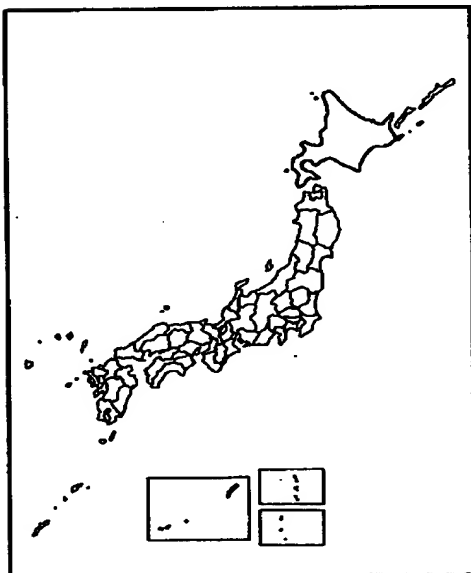
T I F F - F 形式の画像データが添付されています。

Content-Type

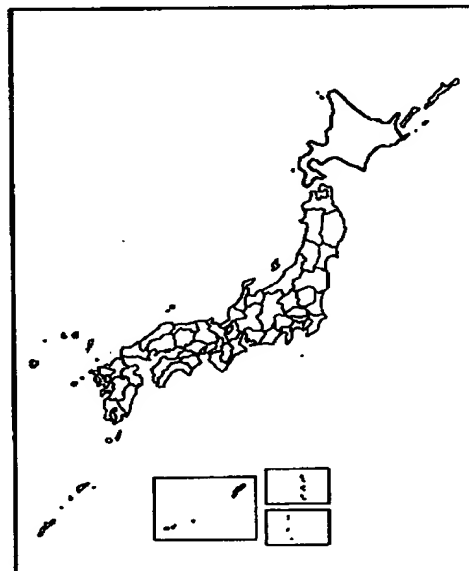
:Image/tiff; name="image.tif"

画像データ (T I F F - F 形式)

(B)



(C)



【図 6】

(A)

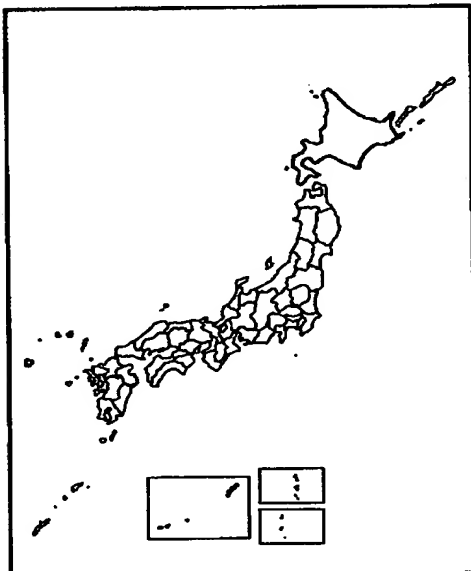
From : abc@de.fgh.co.jp
To : tuv@wx.yza.co.jp
Date : Thu, 14 Jan 1999 00:14:21
Subject : 日本地図
Content-Type : text/plain; charset="ISO-2022JP"

T I F F - F 形式の画像データが添付されています。

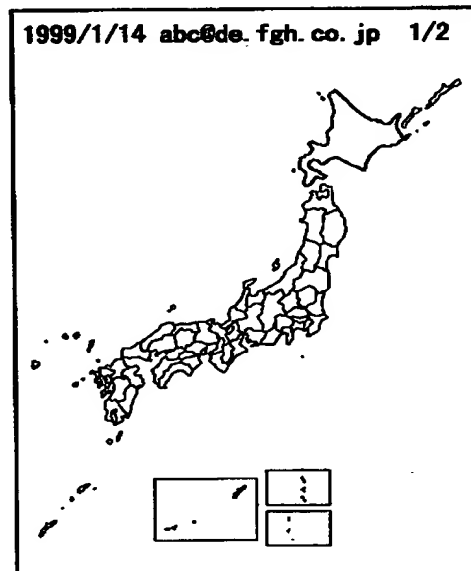
Content-Type : image/tiff; name="image.tif"

画像データ (T I F F - F 形式)
+
各種送信情報 (送信元・送信日等)

(B)



(C)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 各種送信情報（ヘッダ情報）を送信相手先に応じて選択的に添付することにより、利便性の向上を可能としたインターネットファクシミリ装置を提供すること。

【解決手段】 使用者によって画像読取部 1 6 に被読取媒体がセットされた場合（S 1：YES）は、パネル操作部 4 6 を介して入力された送信相手先メールアドレスを確認する（S 3）。ここで、この送信相手先メールアドレスが有するドメイン名と、インターネットファクシミリ装置 1 0 が有するドメイン名とが同一でなく（S 5：NO）、かつ、予め添付／非添付設定キー 5 2 を介して、各種送信情報を非添付とする設定がされたメールアドレスと一致しない場合（S 7：NO）は、送信情報添付部 2 4 を介して被読取媒体上に形成された画像情報の一部に、各種送信情報を添付しつつ（S 9）、画像読取部 1 6 にセットされた被読取媒体上の画像情報を読み取り（S 1 1）、その画像情報を送信相手先に送信する（S 1 3）構成とした。

【選択図】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005267]

1. 変更年月日	1990年11月 5日
[変更理由]	住所変更
住 所	愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
氏 名	ブラザー工業株式会社